

平成 20 年度 市政懇談会（自治会長・納税組合長）議事録（概要）

期 日：平成 20 年 4 月 21 日（月）午後 15 時 20 分～午後 16 時 50 分

場 所：南有馬町 原城オアシスセンター

出席者数： 42 人

質疑内容	回 答	回答者
<p>暫定税率失効に伴う市財源の影響について（下中谷自治会）</p>	<p>道路特定財源は、本市の場合、具体的に列挙しますと、</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 地方道路譲与税（国から直接交付） 2) 自動車重量譲与税（同上） 3) 自動車取得税交付金（県経由で交付） 4) 地方道路整備臨時交付金（国から補助金の形で直接交付） <p>の 4 種類が該当します。仮に暫定税率が復活せずその代替措置もなければ、年間を通じて少なくとも 2 億円以上の減収になるものと見込んでいます。</p> <p>しかしながら、国は道路特定財源の暫定税率切れが確定したことを受け、地方自治体の減収への対応方針を明らかにしました。特に自治体の減収については、各団体の財政運営に支障が生じないよう国の責任で適切な財源措置を講じる必要があるとして国の責任で適切な財源措置を講じる方針を表明したところであります。</p> <p>ただ、具体的な財源措置の方法や金額は、地方税や地方譲与税の減収幅のほか、国による補助・直轄事業の取り扱いなどを見極めないと決められないため、関連法案を再可決する時期など与党の対応を注視しつつ、自治体の意見も踏まえながら検討することとされておりますので、本市としましては、その最終的な代替財源の手当が判明した後に、予算を補正すれば足りると考えております。なお、予算を凍結するとか執行を留保するといったことまで現時点においては考えておりません。</p>	<p>市 長</p>
<p>少子高齢化対策について （下中谷自治会）</p>	<p>少子高齢化対策は、南島原市単独の課題ではなく、国を挙げて取り組むべき課題であり国においても様々な施策の検討がされています。</p> <p>本市の場合においては、全体的な取り組みとし</p>	<p>企画振興 部長</p>

	<p>て、総合計画の重点プロジェクトの一つである「にこやか元気・ひまわり市民プロジェクト」として取り組みを実施します。</p> <p>具体的には、子どもを生き育てやすい環境づくりや、高齢者・障害者が安心して暮らせる環境づくりを進めるため、福祉保健部、市民生活部、教育委員会などがそれぞれに事業を実施するとともに、お互いが連携した取り組みを実施してまいります。</p> <p>事業内容につきましては、それぞれの所管課において実施しますので、詳しくは担当課にお尋ねください。</p>	
<p>農業後継者育成について (下中谷自治会)</p>	<p>農業後継者の育成については、「農業後継者育成事業」及び「農業後継者組織支援事業」を実施し、就農希望者の修学・研修、農業後継者組織の活動への支援を行うとともに、農業改良普及センターや農協と連携を取りながら、農業後継者の団体が行うプロジェクト活動やイベント活動への支援、就農者のフォローアップ活動の実施、親を対象とした研修会、意見交換会を開催し家族経営協定の推進を図ることにより、農業後継者の確保、育成に務めております。</p> <p>また、新規就農者が組織する団体が、ハウス等の農業生産設備を導入する場合は、事業採択要件の緩和や有利な補助率などの支援を行っています。</p>	<p>農林水産部長</p>
<p>下水道浄化センターが一部地区供用開始され1年過ぎました。下水道料金の徴収も開始されると思います。下記2点を質疑します。</p> <p>(1) 現在までの加入戸数はいくらですか？加入者が少なければ使用料の値上げを計画しているか？</p> <p>(2) 地域住民に施設の見学会を行い、同時に下水浄化の必要性を説明すべきと思います。</p> <p>※地元川向自治会では見学を希望しております。(東川向自治会)</p>	<p>(1) 平成20年3月末の大江処理区の接続対象戸数は351戸で3月末現在の接続戸数は133戸であります。大江地区全体の完成までは約3年から4年かかる予定であります。使用料につきましては、大江地区におきましては本年4月より徴収をいたしますので、1年後の決算状況等を見守っていきたいと考えております。</p> <p>(2) 旧口之津町では、婦人会の申し込みがあり施設見学を実施いたしました。希望される自治会及び団体があれば、申込書を準備しておりますので、事前に提出して頂ければ御案内いたします。</p>	<p>水道部長</p>

	<p>※5月20日に南有馬浄化センターの施設見学会を実施しました。</p>	
<p>水道メーター検針日の変更回覧について</p> <p>検針日の変更を回覧する意味がわかりません。各自治会では数枚ですが全自治会では何千枚となり紙や労力の無駄と思っています。</p> <p>大半の者は検針日に目を止めて無いと思う。何枚回覧しなければならないのか理由を知りたい。(東川向自治会)</p>	<p>水道メーター検針日の変更につきましては、各旧町それぞれ検針日が異なっており、検針日の統一を図るために約一年間で調整をしました。</p> <p>回覧を行なった理由としましては、検針日が数日変わるため使用者にお知らせをいたしたところです。</p> <p>ご質問のとおり、毎月回覧をお願いしていましたが、南有馬町は3月をもって調整が終了いたしました。御協力ありがとうございました。</p>	水道部長
<p>市の名称について</p> <p>南島原市が発足して2年を迎えますが、島原市の附属都市のように思われています。島原市が工業、産業都市でベッドタウンとして周辺の町の人口が増加するのであれば南島原の名称でよいと思う。広域に8町合併しているのだから、独自の名称で全国に知ってもらう必要があると考えます。(東川向自治会)</p>	<p>ご承知と思いますが、「南島原市」の名称は、全国的に公募し、応募された名称を合併協議会の「新市名称候補選定小委員会」を経て、最終的に合併協議会で決定されたところです。</p> <p>市の名称については、それぞれに思いがあると思いますが、名称決定に至る経緯の重み、また、名称を変更することによる経費や多方面への大きな影響などを考慮すれば、簡単に名称変更することは現実的でないと思われます。</p>	市長
<p>なぜ南島原市になったのでしょうか。(東川向自治会)</p>	<p>今説明しましたが、公募して、そして名称決定委員会を、副市長が知っているようです。</p>	市長
	<p>その当時、合併協議会の会長をしておりました。その件の事情というのは、全国に広く公募し、全国から相当の応募がございました。その中で最終的には委員会の中で選考して、南島原市と原城市と、2つが残ったわけです。少しの差で南島原市に決定したことを記憶しております。</p>	副市長
<p>総合健診について (大河内自治会)</p>	<p>今年の住民健診は6月20日から予定しています。南有馬町につきましては9月10日から15日まで集団健診を6日間、原城オアシスセンターで予定しています。このうちの3日間、午前中に胃ガン、腹部エコーを含めた総合健診を予定しています。なお、午後開催の6日間は胃、腹部エコーを除くガン検診と特定健診を併せた健診になります。他、婦人ガン、骨粗しょう症検診は別日程の11月27、28日を予定しています。</p> <p>健診の詳細につきましては、5月中に自治会長さんを通じて、個人宛に健診の案内を送付しま</p>	市民生活部長

	す。	
電話番号（050）について （大河内自治会）	<p>旧町時代よりも電話番号の桁が多くなって、覚えにくいということではないかと思いますが、ご承知のとおり南島原市は、八町が合併してそれぞれに総合支所があります。</p> <p>IP電話の導入により、本庁・各総合支所間の連絡も内線電話でつながることができ、通話料が無料になるため、電話料の経費が節約できます。ご迷惑をおかけすると思いますが、ご理解いただきますようお願いいたします。</p>	企画振興 部長
電話番号について、全部の町が、南島原全部が「050」になっているのでしょうか。お伺いしたいと思います。 （大河内自治会）	先ほど申しましたように、本庁、支所すべて「050」という電話番号になっております。	企画振興 部長
口之津あたりも「050」でしょうか。 （大河内自治会）	基本的には全本庁、全支所、それから施設や学校、公民館とかそういった施設も「050」という電話番号に統一しております。	企画振興 部長
先ほど説明がありました、交付金についてお尋ねと要望をいたします。 今までは交付金は、各自治会に交付され、それをどう使ったのか報告するだけでよかったわけです。今度は申請しなければもらえないとなると、自治会長の仕事は大変なことになると思います。そのお金をもらうために色々と計画しなければならない。あまり仕事が多すぎれば自治会長をする人がいなくなるんじゃないか。できるだけ自治会長の仕事を簡潔にしていきたい。申請しなければもらえなくなるのか、今までどおりに報告するだけにしていただけないものか、質問をいたします。（田町自治会）	<p>平成19年度までの納税組合に対する交付金については、自治会長会議で説明をいたしました。そのあり方自体に問題があるということで、廃止の方向で検討してきました。</p> <p>制度を廃止すると当然交付金は出せなくなり、そうすると自治会の運営ができなくなりますので、なんとか同じように自治会に助成する方法はないのかとして、自治会活動補助金を制度化しました。</p> <p>この補助金については、間口を大きく広げて、自治会のコミュニケーションを図る、自治会として従前やっていた内容等は、基本的には適用するよう考えております。また、申請はできるだけ簡潔に、精算も簡潔にできるよう配慮したいと思います。どの補助金が該当するのか、お聞きした中で特殊な例がないのか、それをまとめた一覧表なものを作成したいと思います。それを7月の下旬頃に皆さんのところにお伺いいたしまして、聞き取りをしながら申請の仕方や精算書の作成方法の説明会を開催する予定です。この補助金は、19年度の納税成績率が確定後、前渡しをして年度末に精算をすることとなります。決してご迷惑を</p>	企画振興 部長

	おかけすることはないと思います。	
<p>今年、原城祭に参加して、ボランティアの方が一生懸命に頑張っただけの祭りをなされたのに、なんか盛り上がりがなかったように感じました。従来のようなお祭りのなものも必要ではないでしょうか。そのために予算を取ってもらって、去年のイベント内容に、あの夜のキャンドルだと私はすごく盛り上がるのではないかと思います。</p> <p>せっかくボランティアの方があれだけ一生懸命やられたのに、子どもたちの参加も少なかったし、夜だから仕方ないと思うんですけど、知名度を上げるためにはお祭りの事も必要ではないのでしょうか。</p> <p>(上坊目木自治会)</p>	<p>おっしゃるとおりだと思います。冒頭に言うべきことだったんですが、原城一揆まつり実行委員会の内山会長さんをはじめ、多くのボランティアの皆さん方本当にありがとうございました。</p> <p>昨年と違い、非常に工夫を凝らしてあって、また皆さん方一生懸命にやっていただき本当にありがとうございました。</p> <p>今後どうやって原城を売り出していくのか、もうちょっと盛り上がりをとということでご指摘をいただきました。どのような形でやっていくか、少ない予算の中でどうやって盛り上げていくのか。世界遺産登録に向けて原城を中心にやっていかなければいけません。日本中が注目するような形を何かないかと今一生懸命知恵を絞っているところです。どうぞもうしばらく待っていただけないでしょうか。</p>	市 長
<p>削るところは削っていいのですが、そういうところはいっぱい使ってください。原城は暫定リストにも載ったし、この原城というのはみんなが来て感じてくれないと何にもないところです。</p> <p>市外から来たら「こんなところが本当に暫定リストに載ったのか」という思いになります。そのためには内山さんたちが一生懸命ガイドをやっているというのが一番世界遺産に向けての活動だと思います。</p> <p>あそこは歴史を感じてもらわないと何もないところです。だからそのためには、北有馬と南有馬と口之津の南蛮船渡来をストーリー的に繋げていかないといけないと私は思います。</p> <p>(上坊目木自治会)</p>	いいヒントをいただきまして、ありがとうございました。	市 長
ここに「協働のまちづくり」とありますが、この「協働」という言葉は行政側から言う言葉ですか。いつも私は「協働」といいながら、民の方から言った事に対してあまり振り向いてくれません。「協	<p>おっしゃるとおりだと思います。申し訳ございません。</p> <p>これから先一緒になってやっていかないとどうしようもない状況が多々見られます。よく指導してそれぞれの職員、よく私は部長会議等の幹部会</p>	市 長

<p>働」ということを行政側から言われのではなくて、民の方にもっと積極的に協力していくことが必要と思います。行政の方もいえば市民なのですから。そのことを考えていただいて、合併したからといって、たとえば南有馬庁舎は教育委員会の本所、建設部の本所がありますが、何かをする時支所の少ない人たちしか出てきません。他の部署に行ってる南有馬の人たちが来てくれるのは当たり前ですが。南有馬の本所におられる方もそういう時にでも一緒になって汗を流していただくのが「協働」じゃないかなという感じがします。どうでしょうか。 (砂原自治会)</p>	<p>で言います。「市役所は市民の皆様方の役に立つ人のいる場所だ」と、「お役にどうしたら立てるかというような考えを常に持つ」と言っております。そのことが市民の皆さんが期待することにつながっていくと思います。出来るだけ一緒にやっていくようにしたいと思いますので、どうぞよろしくお願いします。</p>	
<p>この間、島根県の海士町の若者の話しを聞く機会がありました。そこで感じたのが、若者のIターンを一生懸命呼び込んで町づくりをしようという話しを聞いて、なるほどという思いがしました。それは、Iターンで帰ってくる人たちがすべて高学歴の若者たち。すごいなと思いました。しかし、南島原市では高学歴はみんな外へ出て行く。ぜひ高学歴を呼び止める政策をやってほしい。なにか起業するという若者がいたら、起業支援センターでも作って、若者に南島原市に残っているいろいろな会社でもなんでもいいから作り上げて、若者を支援するようなシステムを作ってほしいと思います。議員の皆さんも海士町に視察に行かれたらと思います。 (上坊目木自治会)</p>	<p>人口が一気に増える方策は、なかなかできるものではありません。ましてや行政が音頭を取ったから必ず出来るというものではございません。</p> <p>先ほどの協働行政ではありませんが、行政は行政の立場で、また、受け入れをする体制側の準備も必要であります。現在、それぞれの業種で体験を受け入れていただく団体も育っております。そのような方々と連携を取りながら、一人でも市においていただく、定住いただくことが、少子高齢化対策の地道な一歩だと思います。</p> <p>企業については、まず企業誘致の推進条例を作っております。現状では企業誘致、地場企業の拡大に対する優遇の条例を議会で制定していただきまして、道路交通網の整備等で大企業の誘致はなかなかむずかしいのですが、そのような条件をあまり配慮しなくてもよい高度情報化関係の企業や常時輸送形態をとらなくていい企業に対しての働きかけをしています。そのような企業情報については東京に駐在員を選任し、委託しております。</p> <p>質問された、潜在的な能力はあって、ただし資金などが無いが、アイデアは十分持つておられる可能性があるといった起業家に対する支援については、今後は十分検討させていただいて、どう</p>	<p>企画振興部長</p>

	<p>いった支援体制ができるのか、内部で協議をさせていたきたいと思います。</p>	
<p>自治会長研修についてお願いをしておりましたが、先進市を実際にその場に行ってみないと、勉強にはならないのではないかと私は思います。財政の問題もあるかと思いますが、大いに使って、絞るところを大いに絞っていいと思います。私たち自治会長も全国を飛び回って、どのようなまちづくりをしているのか参考にしてしたほうがいいと思います。自治会長研修の実施を是非お願いします。(大河内自治会)</p>	<p>自治会が市に426ございます。そういうことで旧町時代は各代表の方が研修で補助をしていた町があったかと思います。今のところ各種委員さんの自主研修については、予算化はむずかしいと思います。各議員さんについても自主研修については予算化しておりません。その点ご了承ください。しばらく辛抱していただくほかないのかなと思います。</p>	<p>総務部長</p>
<p>世界遺産についてお尋ねします。世界遺産、南有馬、北有馬、西有家とそれぞれ立派な史跡があるわけですが、市では世界遺産の推進室を作られ、今後どんどん作業をされていくと思いますが、どうも他人事みたいな感じがします。</p> <p>今年は追悼慰霊という形でキャンドルをしたんですけど、このように市民が遺産を大切に思っていることが、世界遺産登録につながっていくと思うので、もう少し関心を持っていただきたい。それから学校関係にお願いしに行っても、すぐ「いいですよ」と言ってくれる学校がありません。やはり子どもたちに伝えていくためには、地元の人たちがどういうことを考え、どんな活動をしているのか知らせることが大切だと思います。学校だけの教育だけでなく現場の教育も大切ではないかと思います。</p> <p>もう少し子どもたち、地域の皆さん方に真剣に考えてもらうために、南島原市全体にもっと取り組みを知らしめていただきたいと思います。</p> <p>(砂原自治会)</p>	<p>世界遺産の推進につきましては、4月7日に市長を本部長に推進本部を立ち上げました。その下部組織として、全庁的な市役所の職員で組織する幹事会を組織いたしました。その中で、市民の方々と一緒になった取り組みを検討してまいりたいと思います。本年度、約5千万円の予算を登録推進のために計上しておりますけれども、特にPRについても積極的な広報活動を行っていきたいと思っておりますし、それから中学生が主催するようなシンポジウムというのも計画しております。市民に対する歴史文化ツアー、歴史講座、史跡を見て回る史跡ツアーなどを計画しております。具体的な取り組みを今後進めてまいりますので、ご協力をお願いします。</p>	<p>教育次長</p>

<p>いろいろな施策をしていただいて、それをもっとメディアに訴えていただきたいし、メディアに取り上げてくれると回りが関心を持ってくれますので、もっと PR をよろしくお願いいたします。(砂原自治会)</p>	<p>市の秘書広報課に情報を一旦流して、すべての新聞、テレビ局、地元の有線テレビ局、そういうところにイベント・行事などの情報を流しております。そういった形で取り上げていただいて、特に記事として扱っていただき、マスコミを有効的に活用していきたいと思っております。いろいろなお提案をしていただきありがとうございます。今後ともよろしくお願いいたします。</p>	<p>教育次長</p>
<p>私が今日来て感じたことが、一生懸命地産地消しようと言いながら、よそのお茶が出てきたというのは、私は非常に不満です。県内のお茶を使うとか、市全体で地産地消をしましょうと訴えていくのが当たり前だと思います。(上坊目木自治会)</p>	<p>今後、産地化されたもの、出来れば安くてうまいものかと考えています。すべてにおいてアンテナを張って、地産地消を推進していきたいと考えています。どうか今回はご容赦下さい。</p>	<p>総務部長</p>